

お客様ならびに販売店（取付店）様へ
安全にお使いいただくために必ず最初にお読みください。

※安全上の注意事項※

パッケージ、取扱説明書に記載してある指示及び警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・製品包装のビニール袋等は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないよう、手の届かないところに片付けるか、廃棄処分してください。
- ・マフラー、エンジン、ブレーキ等はエンジン始動中及び停止後しばらくは高温になっています。触れると火傷等の怪我や衣服等の可燃物が燃える可能性がありますので、その部分がきちんと冷えるまで人や動物が触れることがないようにしてください。また、近くにガソリンなどの危険物や燃えやすい物を置かないでください。作業を行う際は、エンジンなどがきちんと冷えてから行ってください。
- ・本商品に使用されている全てのボルト／ナット類（商品に組み込み済みボルト／ナット類を含む）は取り付けるときに、必ず締め付け確認を行ってください。締め付けは記載された規定のトルクにて確実に、記載の無いものについては車両のサービスマニュアルもしくはボルト／ナット類のサイズ／種類にあった規定のトルクにて締め付けてください。締め付けが不確実な場合や組み付け不良等は走行中などに部品が脱落し、事故等に繋がります。
- ・取り付け後は100Km程度の試運転後、各ボルト／ナットを規定トルクで増し締めを行ってください。その後も500Km程度ごとに同様の増し締めを行ってください。走行前には、必ず各部の点検及び増し締めを行い、定期点検は必ず行ってください。
- ・エンジンを始動するときには、換気の良い場所で行ってください。
- ・エンジン始動時は排気口に手を出したりしないでください。火傷や排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し、安全な場所に停止して、異常箇所の点検を行ってください。
- ・作業は必ず、水平で安全な状態が確保出来る場所で車両を安定させてから行ってください。
- ・ドライブチェーン、スプロケットなどの回転部分やブレーキ、クラッチレバー／ペダル等の可動部分に手や衣服等を巻き込まれないように注意しながら作業を行ってください。
- ・ガasket、リング、割ピン等は取り外し毎に必ず新品に交換してください。
- ・一般公道（舗装路）において法定速度内でのご使用を想定しております。法定速度を守り安全運転を心がけてください。

注意 誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容を示しています。

- ・本商品はオートバイに関する整備の一般的な知識及び技能を有する方（国家資格を持つ整備士）が取り付けることを前提としております。それ以外の方が取り付けを行うと本書の通りに取り付け整備をしても知識不足、技能不足で正しく取り付け整備ができないため、トラブル、破損等の原因となることがあります。国家資格を持つ整備士または指定、認証工場へ取り付けを依頼してください。
- ・本商品は記載された適合車種以外への使用はしないでください。また本商品が汎用品の場合は、弊社で確認済み車両以外に取り付けたことにより起こった不具合には保証の対象外となります。
- ・本商品はノーマル車両を前提に設計されています。車両に事故歴や転倒歴がある場合や別途アクセサリ部品が取り付けられている場合には適合車種でも取り付け出来ない場合があります。また弊社で確認済み以外の他商品との組み合わせで取り付けした場合、車両および部品を破損させる可能性があります。
- ・塗装仕上げやアルマイト処理が施された商品は、製造上、商品の裏側や取付けステー周辺の表面仕上げにムラが発生する可能性があり、その場合タッチアップペイントを施していることもあります。また、地域の環境やメンテナンス次第によっては、サビや色落ち等の素材の経年変化が発生する可能性があり、耐久性や品質等が純正パーツとは異なるものがありますのであらかじめご了承ください。また、お手入れ等を行う際には、ガソリンやシンナー等の溶剤は使用しないでください。塗装や表面処理にダメージを与える原因になります。
- ・本商品やパッケージの角部等には、エッジや突起部がある場合があります。その際にはケガ防止のために、整備に適した作業着、帽子、安全靴を装着し、必要に応じて 防護眼鏡、防塵マスク、手袋等の保護用具を着用して作業を行ってください。また、必要に応じて、ヤスリ等を使用してエッジ部や突起部の処理を行ってください。
- ・製品個体差による溶接や塗装、小傷歪み等、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。
- ・本商品の各部品に曲げ、切削、溶接等の追加加工を行った場合は保証の対象外になり、重大な事故が起こる場合がありますので絶対に追加等を行わないでください。
- ・本商品を取り付けることで、車両側の取り付け面にキズや塗装の剥がれが起こる場合があります。また、部品の脱着する際には、塗装面への傷付きに注意して作業してください。
- ・本商品を取り付けることで、車両メーカーからの車両本体の保証修理の対象外になる場合があります。
- ・本書は取扱説明書及び本商品の取り付けに際して取り外した部品と一緒に保管してください。本商品または本商品を取り付けた車両を譲られる際には本書及び取扱説明書や警告、注意の記載があるパッケージも併せて譲渡先へお渡ください。
- ・お客様以外が取り付けを行う場合、取り付けされる方（販売店を含む）は取り付け完了後に各部の緩み、不具合等点検後、危険箇所（バリ、突起部）無きことを確認の上、必要事項を説明し本説明書も必ず一緒にお客様へお渡ください。
- ・車両から取り外した純正部品を再利用する場合には、摩耗や破損を確認し、必要であれば新品と交換してください。



このたびは本商品をお買い上げいただき、有難うございます。正しく取り扱いいただき、末永くご愛用いただけますようお願い申し上げます。また本書は大切に保管してください。

安全上の注意事項

作業に始める前に本書を必ず熟読いただき、記載事項を厳守して作業を行ってください。

警告 ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

- ・本商品は複数の車種で共用できる設計となっているため汎用品の扱いとなりますが、弊社にて取り付け確認済みの車種（適合車種）以外に関することは不明です。（取り付け確認済みの車両については、弊社 Web ページにて、最新版をご確認ください。）また、本商品はすべての車両への取り付けを保証していません。車種やお客様の使用状況によっては取り付けできない場合がありますのでご了承ください。
- ・12V車両専用です。6V車両や24V車両などには使用しないでください。
- ・取り付けや、配線ミスにより発生いたしました破損・不具合等については保証の対象外となります。
- ・H.I. Dキットや社外品のイグニッションコイルなど高電圧ノイズが出る商品と同時に装着しないでください。高電圧ノイズによりデジタル回路に悪影響を及ぼし、最悪の場合にはメーターが故障する原因になる恐れがあります。
- ・本商品は完全防水ではなく、防滴構造となっております。通常の雨程度の水濡れ程度では、内部に水が入ることはありませんが、メーター本体を水の中に落としたり、水没させたりすると内部に水が侵入してしまいます。もし内部に水が浸入した場合にはただちに使用を止めてください。
- ・本商品を取り付ける際には使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷が見られた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのまま使用していると重大な事故等につながる恐れがあります。
- ・取り付け後は走行前に各部に異常がないか毎回点検を行ってください。
- ・本商品の脱落がないように確実に取り付けください。また作業中および使用中についたキズ等については保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。
- ・オフロード走行やジャンプ、ウィリーなど激しい衝撃が加わるような行為は絶対に行わないでください。メーター外観だけでなく、内部構造を破損し、故障の原因になります。
- ・走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所へ停車し、異常箇所を点検してください。正常に機能しない場合にはご使用をおやめください。
- ・メーター本体の掃除にアセトンやシンナーなど揮発性のあるもので拭いたり、コンパウンドで磨いたりすると白く曇ってしまいますので、ご注意ください。
- ・本商品は樹脂製のため、長期間野外で放置する場合にはバイクカバーを掛けたりして保護してください。また、炎天下の中など過酷な条件下でも同様に長期放置しますと、樹脂やゴム製品の劣化や変形する恐れがあります。

●保証について

※保証期間は購入日より1ヶ月間です。ただし期間内であっても取り付け後の走行距離が1000Kmまでとさせていただきます。本商品を取り付け、使用したことで本商品以外の部品等に不具合が発生しても本商品以外の部品や、その他の保証（修理工費、レッカー代、交通費、宿泊費等含む）は保証期間内であっても弊社では一切の責任を負いません。ご購入いただきました販売店にて下記記入欄に必要事項を記入し、必ず捺印してください。記入漏れや販売店印が無い場合は保証の対象外となりますので、記入が無い場合には直ちにご購入された販売店にお申し出てください。また本取扱説明書の記載事項に従ってご使用になられた場合のみ保証の対象となります。ただし以下の場合には、保証期間内であっても保証の対象外となりますのでご注意ください。

- ・一般公道以外で本商品の使用。
- ・誤った組み方や使い方が原因による故障。
- ・火災、地震などの自然災害、気象変化、犯罪、交通事故などに巻き込まれたことによる故障及び破損。

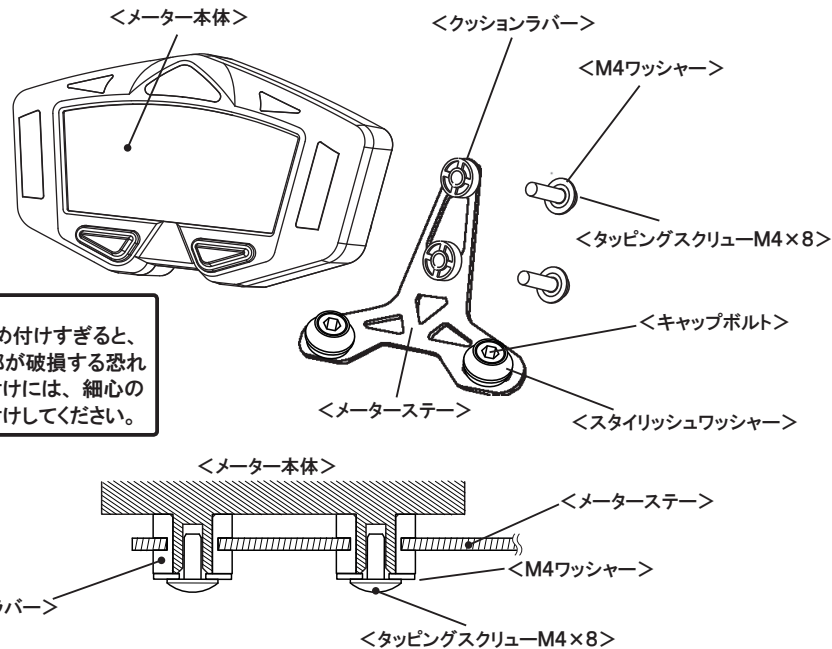
また、使用後の外観不良に関しては保証対象外となります。万一、お気付きの点がありましたら、ご使用になる前にお問い合わせください。

ご購入日	ご購入時走行距離	販売店印
年 月 日	Km	

●メーターの取り付けについて

※本商品は汎用品であり、車種別設計されたものではありません。
 取り付けには、ステー類の加工や車両側の加工、または工夫が必要になります。
 メーター裏側など取り付け部が樹脂の場合には、締め付けすぎると破損に繋がりますので、
 ご注意して取り付けてください。

《取り付け例》

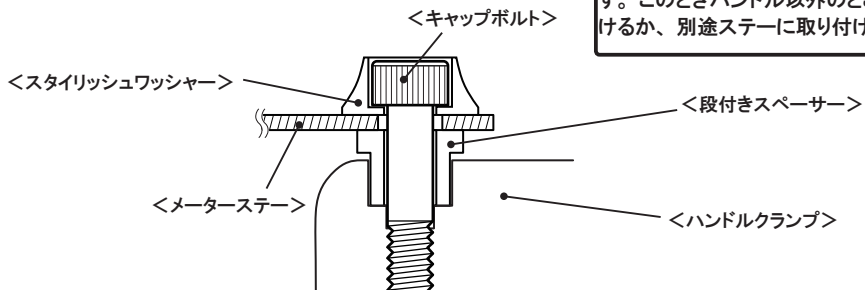


《注意》
 M4スクリューで締め付けすぎると、
 メーター側のネジ部が破損する恐れ
 があります。取り付けには、細心の
 注意を払って取り付けしてください。

《ハンドルクランプに固定》

形状によっては付属のボルトや段付きカラーでは長さが足りない
 場合があります。その際には、別途ボルトとカラーをご用意してください。

《注意》
 メーターステーでハンドルに取り付けると、
 メインハーネスが窮屈になる場合がありま
 す。このときハンドル以外のところに取り付
 けるか、別途ステーに取り付けてください。



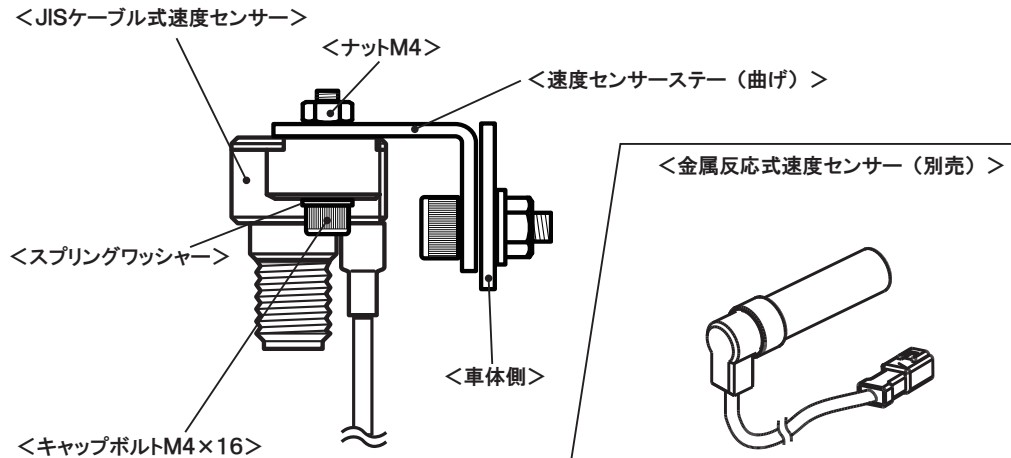
《警告》

メーターステーをハンドルクランプなどに共締めで取り付けする際に、誤った取り付けを行うとボルトの緩みの原因に
 なります。このような状態で走行すると大変危険ですので、十分にご注意ください。
 また、取り付け不備による商品の故障及び破損、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

●速度センサーの取り付けについて

※本商品は汎用品であり、車種別設計されたものではありません。
 本商品に付属している速度センサーはJISケーブル式速度センサーになります。車両の速度センサ
 ーが違う場合には、別途、金属反応式速度センサーが必要になります。
 速度センサー取り付け位置につきましては、走行の邪魔にならないような位置に取り付けてください。

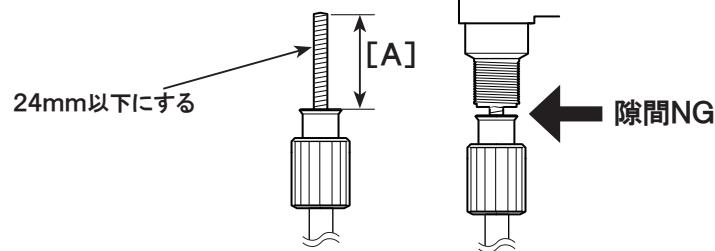
《取り付け例》



《注意》

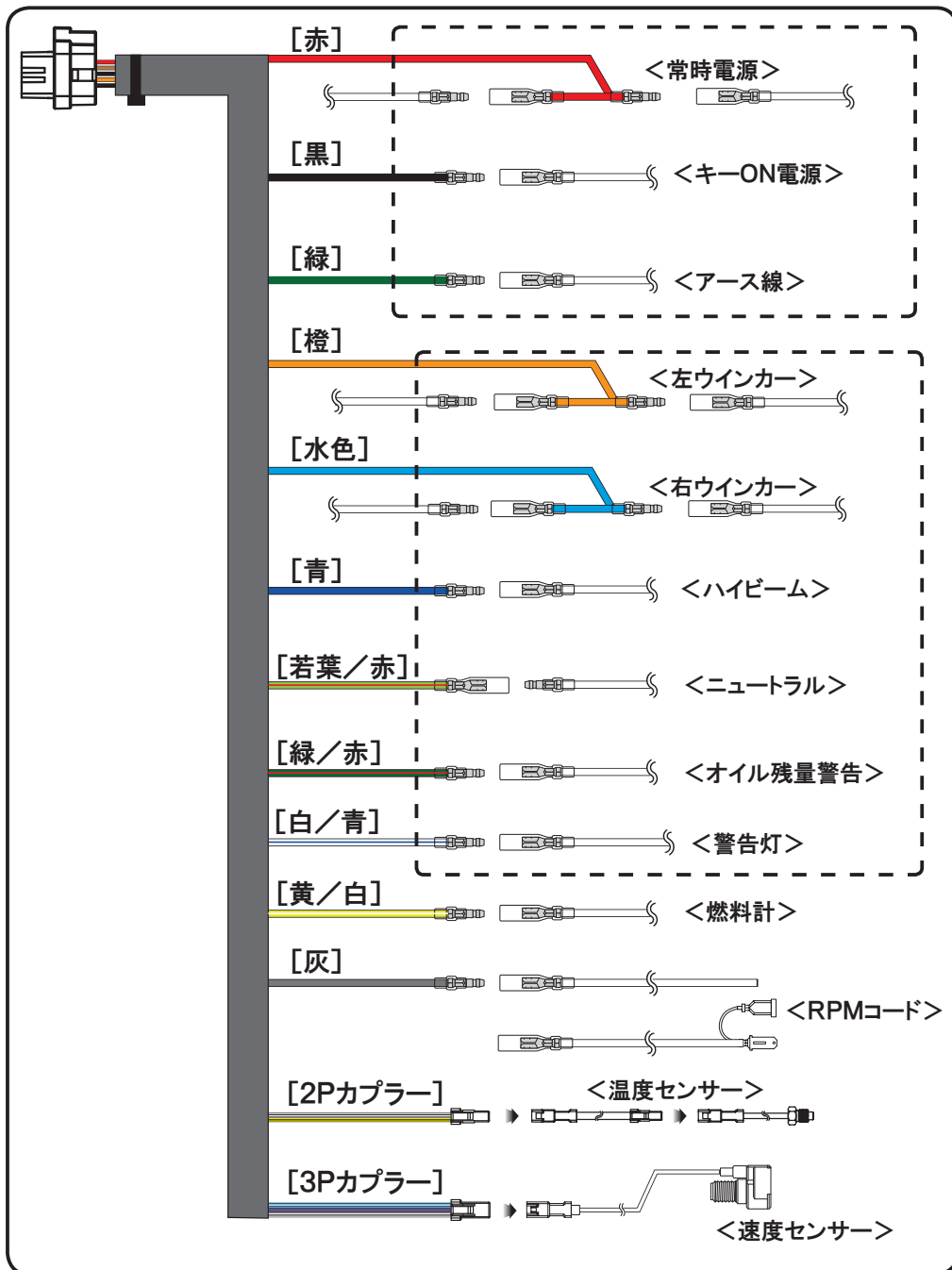
付属のJISケーブル式速度センサーはJIS規格に基づいた形状となっておりますが、
 なかにはケーブル加工が必要にある車両（輸入車など）があります。その場合には、下左図のように
 ケーブルの飛出し量（下図 [A] 寸法）を測定して、もし24mm以上の場合は24mm以下になるように
 カットしてください。

※下右図のように、ケーブルが奥で底付きして隙間が空いた状態で使用すると回転部が激しく磨耗して
 しまい、正しい速度が表示出来なくなってしまうので、ご注意ください。



1. 配線について

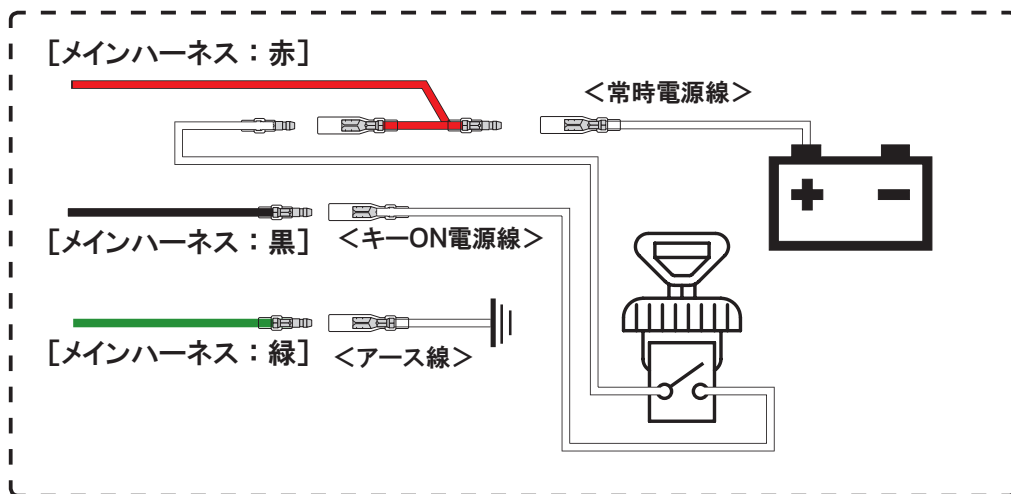
1-1. メインハーネス外略図



1-2. 電源部の配線について

車両によって、配線を接続する部分や配線の色が異なります。各車両のサービスマニュアルに記載されている配線図をよく確認して、また下図を参考にして、どこの配線に接続すればいいかよく照らし合わせた上で接続してください。

《DC12Vに接続》



メインハーネスから出ている赤線を常時電源線（キーOFF時でも電圧がかかっている線）に接続します。メインハーネスから出ている黒線をキーON時に電圧がかかる線に接続します。メインハーネスから出ている緑線をアース線に接続します。

※バッテリー装着車でも、エンジン始動することによって電圧の発生する配線があります。（ヘッドライトやテールランプなどに多い）この配線はAC電源となりますので、こちらの配線には接続せずにキーONだけで電圧がかかる配線に接続してください。また、車両によって個体差はありますが、このときの電圧はキーON時で12.5～13V前後、走行中には～14.5V前後となります。

《接続上の注意事項》

メーター取り付け後にキーONしてもメーター本体の電源が入らない場合には、バッテリーの劣化もしくは誤配線が考えられます。バッテリーが劣化したまま使用し続けると、過度の負荷により車両のレギュレーターが故障してしまう可能性がありますので、バッテリーを交換してください。また、接続する線を間違えるとヒューズが飛んだり、メーター本体の故障する恐れがありますので、接続したら、キーONする前に再度ご確認くださいから、キーONにしてください。

《参考》

下表は各メーカーごとの代表的な配線の色です。あくまでも参考なので、必ず取り付ける車種の配線図をご確認ください。

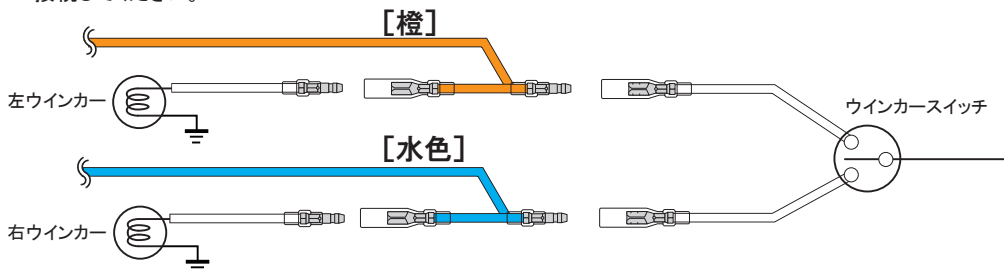
	キーON電源	アース線
HONDA	黒もしくは赤 / 黒	緑
YAMAHA	茶	黒
SUZUKI	橙	黒 / 白
KAWASAKI	茶	黒 / 黄

1-3. 各ランプの配線について

車両によって、配線を接続する部分や配線の色が異なります。各車両のサービスマニュアルに記載されている配線図をよく確認して、また下図を参考に、どこの配線に接続すればいいかよく照らし合わせた上で接続してください。

《ウインカーランプ》

橙線が左側、水色線が右側のウインカーランプの線になります。
車両ハーネス側のウインカースイッチからウインカーランプに繋がっているプラス線の間で割り込ませるように接続してください。

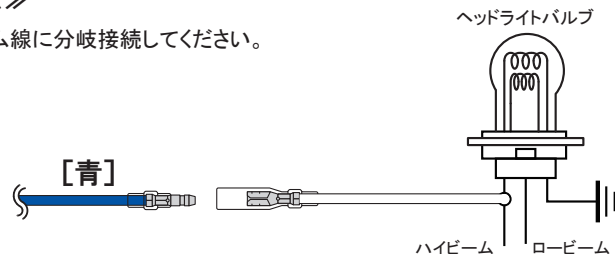


《参考》
右表は各メーカーごとの代表的な配線の色です。
あくまでも参考なので、必ず取り付ける車種の配線図をご確認ください。

	HONDA	YAMAHA	SUZUKI	KAWASAKI
左	橙	濃茶	黒	緑
右	水色	濃緑	若葉	灰

《ハイビーム》

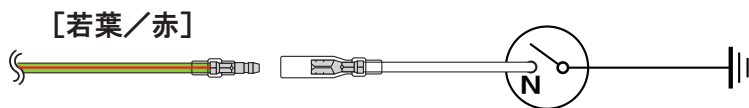
青線をハイビーム線に分岐接続してください。



※ホンダ車の中には、ヘッドライトをマイナス電圧のみで点灯している車両があります。(特に小排気量車)
この場合には、ハイビームランプは使用できません。

《ニュートラル》

若葉／赤線をニュートラル時にアースと導通する線に接続してください。

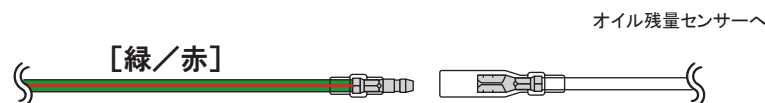


《参考》
下表は各メーカーごとの代表的な配線の色です。
あくまでも参考なので、必ず取り付ける車種の配線図をご確認ください。

HONDA	YAMAHA	SUZUKI	KAWASAKI
若葉／黒、若葉／赤	水色	青／黒	若葉

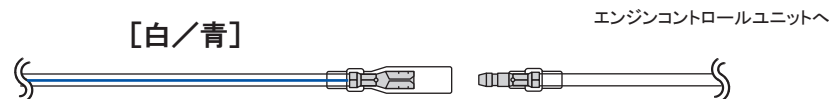
《オイル残量警告ランプ》

緑／赤線をオイル残量センサー（主に2ストローク車）から純正の警告灯の間で割り込ませて接続してください。



《FI警告ランプ》

白／青線を純正の警告灯とECUの間で割り込ませて接続してください。



《注意》

様々な車両にご使用いただけるよう、汎用性の高いメーターとなっておりますが、車種によっては回路の仕組み上、全ての機能をご利用できない場合や配線方法が全く異なる場合があります。
ご自身で、車両のサービスマニュアルをご確認の上、お取り付けください。

1-4. ガソリンメーターの配線について

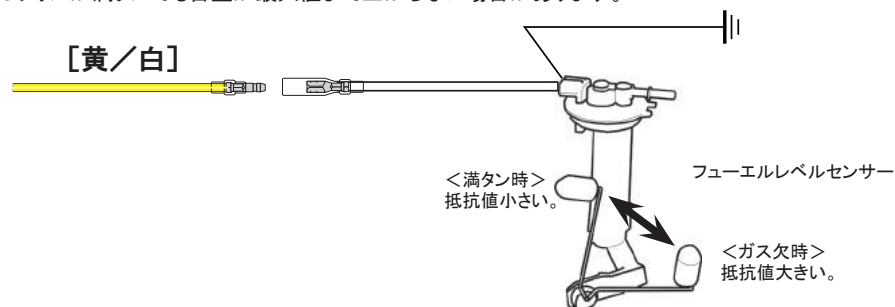
車両によって、配線を接続する部分や配線の色が異なります。各車両のサービスマニュアルに記載されている配線図をよく確認して、また下図を参考にして、どこの配線に接続すればいいかよく照らし合わせた上で接続してください。

《ガソリンメーター》

車両にガソリンメーターが付いている車両でフューエルレベルセンサーの満タン時とガス欠時の抵抗値が分かる車両には接続できます。(車両のサービスマニュアルに記載されています。) 抵抗値が分からない車両でも、抵抗値を測定することで接続できます。

抵抗値はユーザー設定、100、180、250、270、510、1200、SWの中から選択できます。

また、ガソリンメーターが付いていない車両にはバッテリー電圧の目盛とすることができます。配線を接続しない場合には、表示をしません。また、車両本体のセンサーやメーターの仕組み上、ガソリンが満タンでも目盛が最大値まで上がらない場合があります。



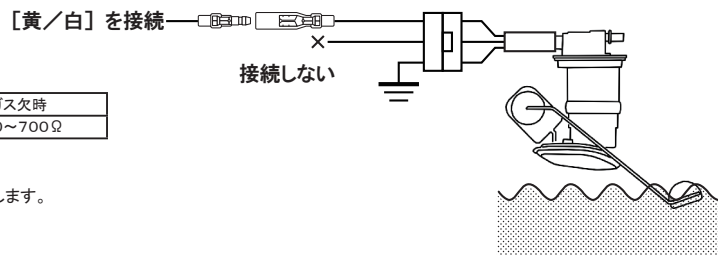
全ての車両が下図のようにになっているとは限りません。主だった車両の配線方法についてですので、取り付けの参考程度にしてください。各車両の配線図を確認して取り付けください。

[HONDA車]

端子間の抵抗値を測定する。

満タン時	ガス欠時
25~45Ω	400~700Ω

上記の抵抗値の場合、
メーターの設定抵抗値は510Ωにします。

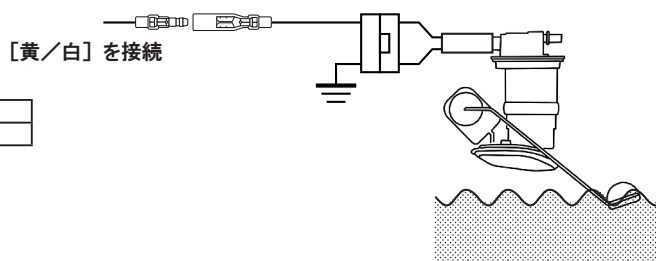


[YAMAHA、SUZUKI車]

端子間の抵抗値を測定する。

満タン時	ガス欠時
約10Ω	約100Ω

上記の抵抗値の場合、
メーターの設定抵抗値は100Ωにします。



1-5. 回転数の配線について

様々な車両に対応できるように、回転数信号の設定と様々な入力方法が可能となっております。

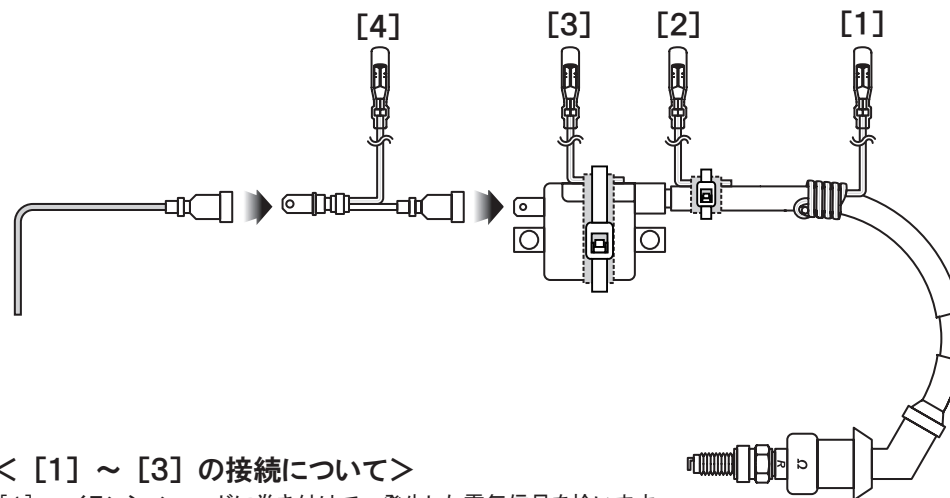
- ・ 信号回数の設定・・・クランクシャフト1回転あたりの信号回数設定です。設定値がずれていると半分、2倍、3倍の数値が表示されます。
- ・ 信号種類の設定・・・読み込みプログラムの種類を選択します。動作が不安定なときに、切り替えてみてください。

《注意》

回転数信号に悪影響を及ぼす恐れのある社外品を使用しないでください。社外のイグニッションコイル、プラグキャップ、ハイテンションコード、レーシングプラグなどは多大な悪影響を与える場合があります。また、純正品でも劣化したままで使用するとノイズが増大しますので、ご注意ください。

下記に様々な信号を拾う方法を提示しますがメーターが正常に動く範囲でできるだけ悪影響が少ない方法(信号電圧が低い、ノイズが少ないなど)を見つけて接続してください。

《イグニッションコイルに接続》



< [1] ~ [3] の接続について >

[1] ハイテンションコードに巻き付けて、発生した電気信号を拾います。
最初は1回巻きから試して、メーターが動かない時には巻き数を増やしてください。
メーターの数値が大きく振れている場合には強いノイズの影響なので、巻き数を増やしても直りませんので、別の接続方法を試してみてください。
最後に熱収縮チューブで保護するように仕上げるとより良いです。

[2] ハイテンションコードに20~30mmほどコードを沿わせてタイラップで固定してください。
保護チューブがあるところに沿わせた方が若干ノイズが少なくなります。

[3] イグニッションコイルのボディに20mmほどコードを沿わせてタイラップで固定してください。

《注意》

RPMコードの余分な部分はノイズをを拾ったりして悪影響を受けますので、適度な長さでカットして取り付けください。
また、取り付ける際には一度、絶縁テープなどで仮止めてエンジン始動して動作確認をしてください。

(前ページの続き)

< [4] の接続について >

イグニッションコイルの1次側に割り込ませて信号を拾う方法です。

点火方式は車両によって異なり、プラス電圧点火方式とマイナス電圧点火方式の2種類あります。

それぞれの方式で割り込ませる箇所が異なりますので、下記を参考にしてください。

また、この接続方法はバイクの高電圧部に配線を直接接続するので、点火部品からの悪影響をそのまま受けてしまいます。他の方法ではどうしても動作しない場合に、この方法で試してください。

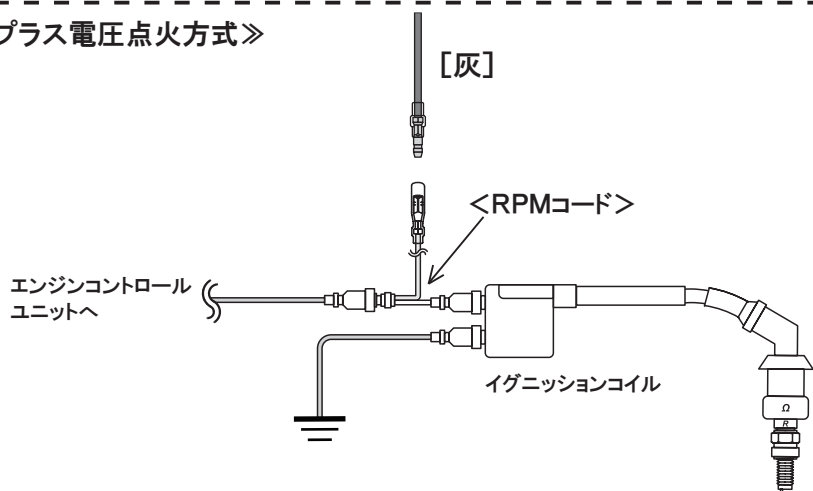
●プラス電圧点火方式とマイナス電圧点火方式について

車両のサービスマニュアルに記載されている配線図にて、イグニッションコイルに接続されている配線が1本（取付けボルト部でアース）、または2本あるが片方がアース線であればプラス電圧点火方式です。

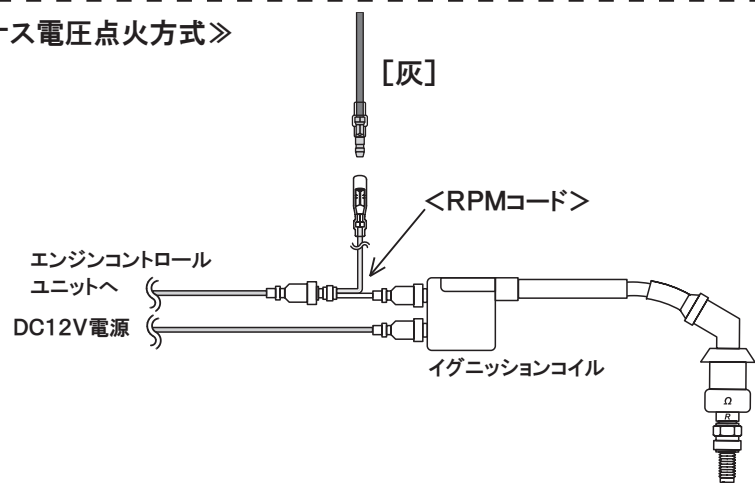
キャブレター車に多い方式になります。

車両のサービスマニュアルに記載されている配線図にて、イグニッションコイルに接続されている配線が2本で、その片方がDC12V電源である場合は、マイナス電圧点火方式です。これはインジェクション車に多い方式になります。

<< プラス電圧点火方式 >>



<< マイナス電圧点火方式 >>



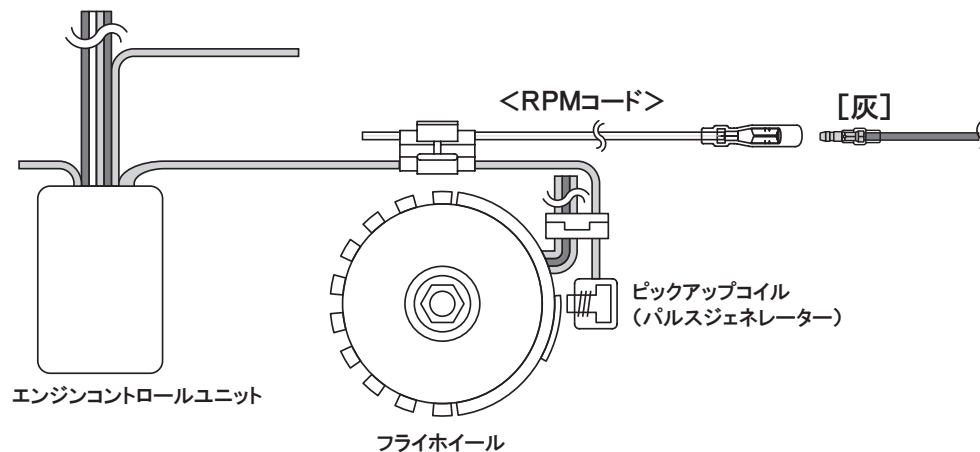
<< フライホイールに接続 >>

フライホイールのピックアップ信号から回転を拾います。

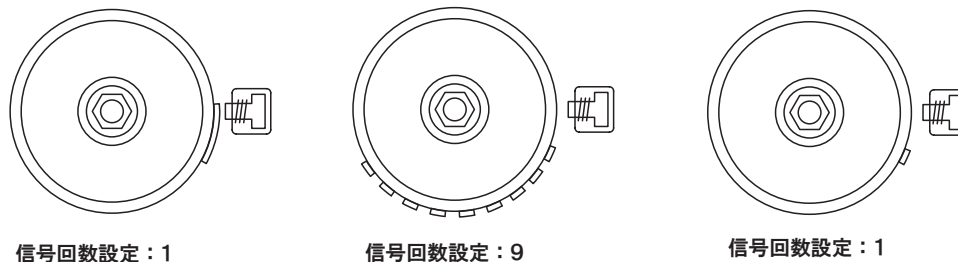
電圧やノイズが小さいので、メーターへの悪影響を与えにくく、取り付けには適しています。

フライホイールの外側にピックアップコイル（パルスジェネレーター）があるバイク用の取り付け方法です。ピックアップコイルがない車両、社外品のインナーローターでは電圧が高過ぎる可能性があるためこの場合には接続しないでください。

フライホイールの外周にある突起部の数が36個まで対応しています。

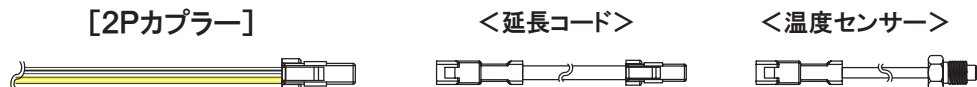


< 信号回数設定の例 >



1-6. 温度センサーの配線について

温度センサーを2Pカプラーに接続します。
温度センサーで水温や油温を測定する場合には、別途オプション部品のアダプターが必要になります。



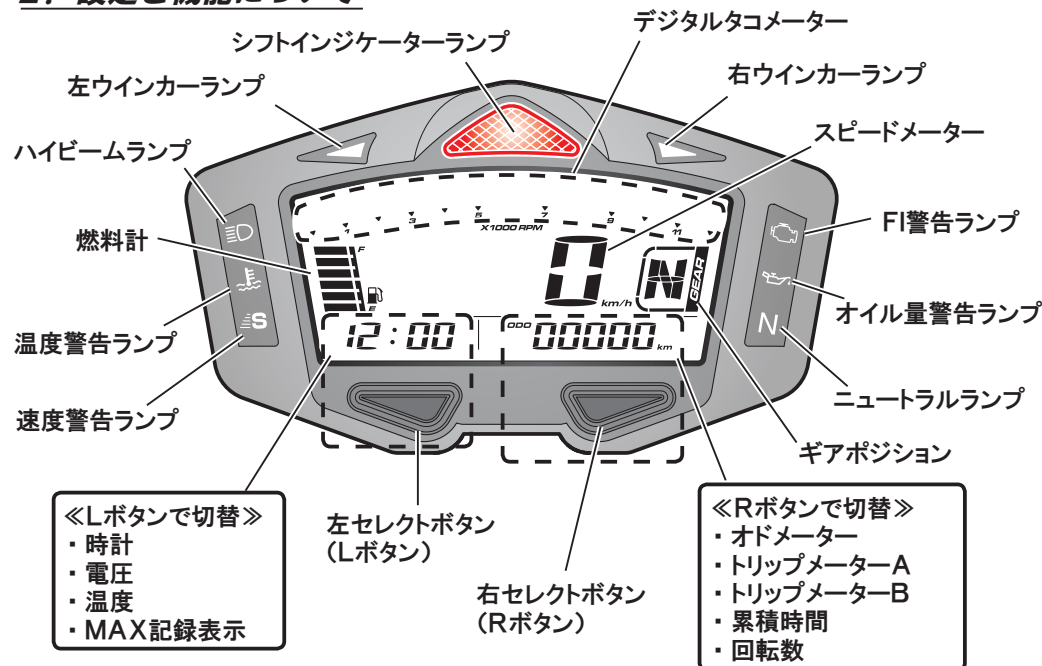
※温度センサーを未接続の場合、温度表示は [---. -°C] となります。
センサーを接続しているのに、上記の表示になる場合は配線の断線が考えられます。

1-7. 速度センサーの配線について

付属のJISケーブル式速度センサーは約180km/hまでとなります。
180km/h以上の速度表示が必要な場合、またはJISケーブル式ではない速度センサーの場合には、オプション部品の金属反応式速度センサーをご使用ください。(最高表示速度: 360km/h)
ケーブルがメーターケーブル差し込み部の奥まで入っていることを確認してから、ケーブルロックナットを締め付けてください。
振動でロックナットが緩まないようにプライヤーなどでしっかりと締め付けてください。
また、走行前に緩んでいないかどうか確認してからご使用していただくことを推奨します。



2. 設定と機能について



- ・スピードメーター
最高表示360km/h (ただし、オプションの金属反応式速度センサー使用時)
付属のJISケーブル式だと約180km/hまで。
- ・シフトインジケータランプ
設定した回転数に到達するとランプが点灯。(予備警告: 黄色、警告: 赤色)
設定回転数はそれぞれ1000~20000RPMまで。
- ・速度警告ランプ
30~360km/hで設定。
- ・温度警告ランプ
60~250°Cで設定。
- ・デジタルタコメーター
ゲージ範囲設定は10000、12000、15000、OFF (OFFを選ぶと表示しません)
- ・燃料計 (電圧計)
USER、100/180/250/270/510/1200Ω、SW、BATTで設定。
- ・オドメーター
~99999km (1km単位)
- ・トリップメーターA、B・・・Rボタンを長押しでリセット
~9999.9km (0.1km単位)
- ・累積時間・・・Rボタン長押しでリセット
99999時間 (1時間単位)
- ・バックライト
ブルー、オレンジ、パープルの3種から選択可能。OFF、5段階の明るさ調整可能。

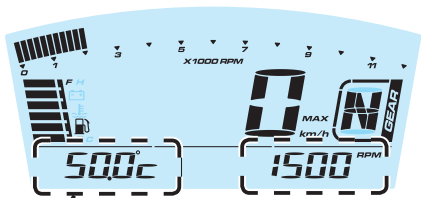
2-1. 基本操作について

キーONでメーターが起動します。約4秒間で起動します。

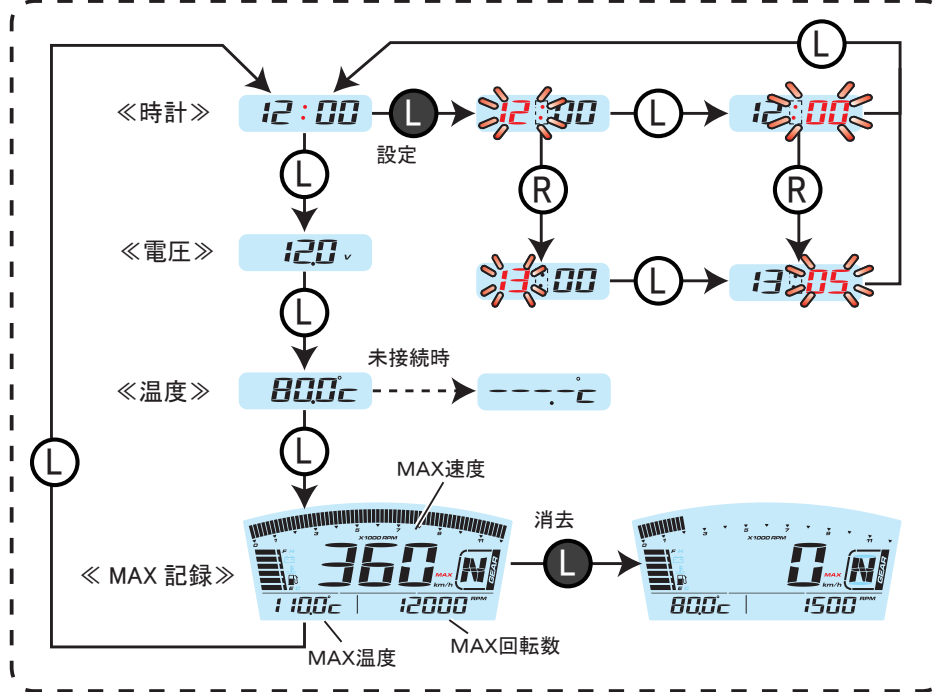
※常時電源を接続した1回目だけ全てのインジケータLEDが点灯します。以降はキーONでシフトインジケータランプのみ点灯します。常時電源を接続していない場合は、毎回エンジン始動に伴って、全てのインジケータLEDが点灯します。

Ⓛ 短押し (3秒未満)

Ⓛ 長押し (3秒以上)



《左スイッチ》



Lボタンを押すことで『時計』、『電圧』、『温度』、『MAX記録』と切り替わります。

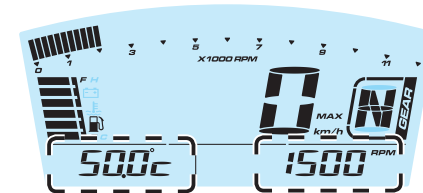
時計の設定は『時計』選択時にLボタンを長押しして、まずは時間単位を設定します。変更する場合には、Rボタンを押して数字を変更します。時間単位の変更が終わったら、Lボタンを押して、今度は分単位を設定します。同様に、Rボタンで数字を変更して、終わったらLボタンで時計の画面に戻ります。

『温度』は温度センサーを未接続時には『---.°C』と表示されます。

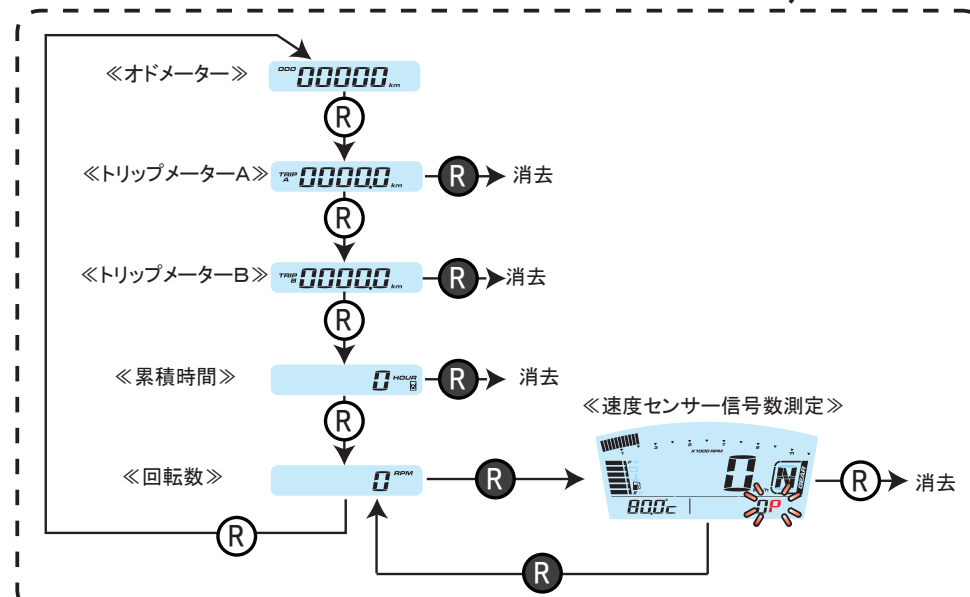
『MAX記録』はこれまでに記録された最高速度、最高回転数、最高温度が表示されます。消去する際にはLボタンを長押ししてリセットします。

Ⓛ 短押し (3秒未満)

Ⓛ 長押し (3秒以上)



《右スイッチ》



Rボタンを押すことで『オドメーター』、『トリップメーターA』、『トリップメーターB』、『累積時間』、『回転数』と切り替わります。

『トリップメーターA、B』は選択時にRボタンを長押しで消去されます。

『累積時間』は今までの使用した累積時間が表示されます。選択時にRボタンを長押しで消去されます。

『回転数』はエンジン回転数が表示されます。

このとき、Rボタンを長押しすると速度センサーの信号数を測定できます。

《速度センサー信号数測定について》

車両の速度センサーに配線を割り込ませた場合で信号数が分からない時には、この方法で測定して速度設定の際に信号数を入力します。

信号測定画面でタイヤ（センサー位置によって、フロントカリアのどちらか）を回転させたときに信号数が表示されます。

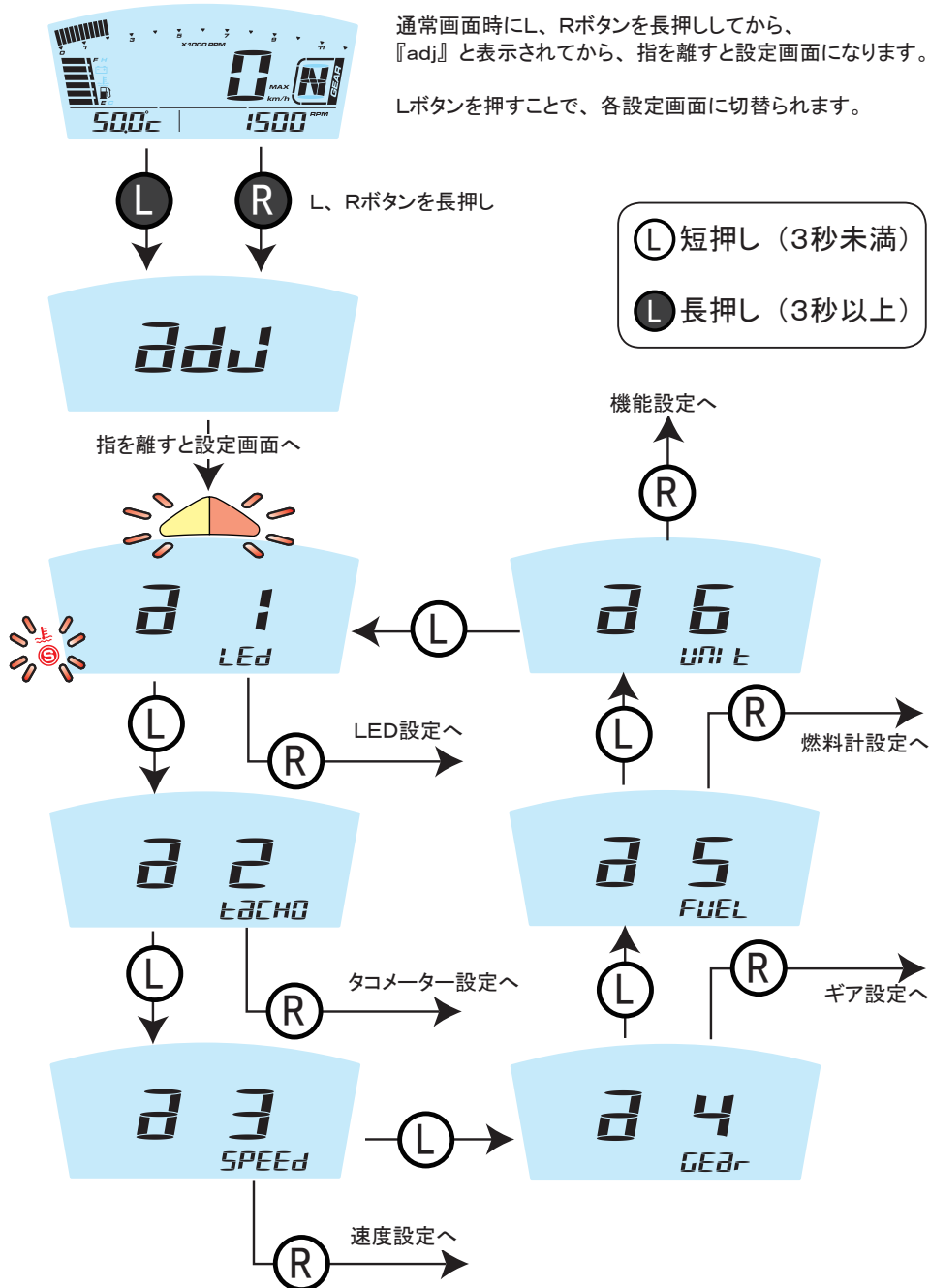
タイヤを何回転かさせて、1回転あたりの信号数の平均値を拾い出すとより正確な数値になります。

Rボタンを押すと測定値がリセットされます。Rボタン長押しで、回転数表示に戻ります。

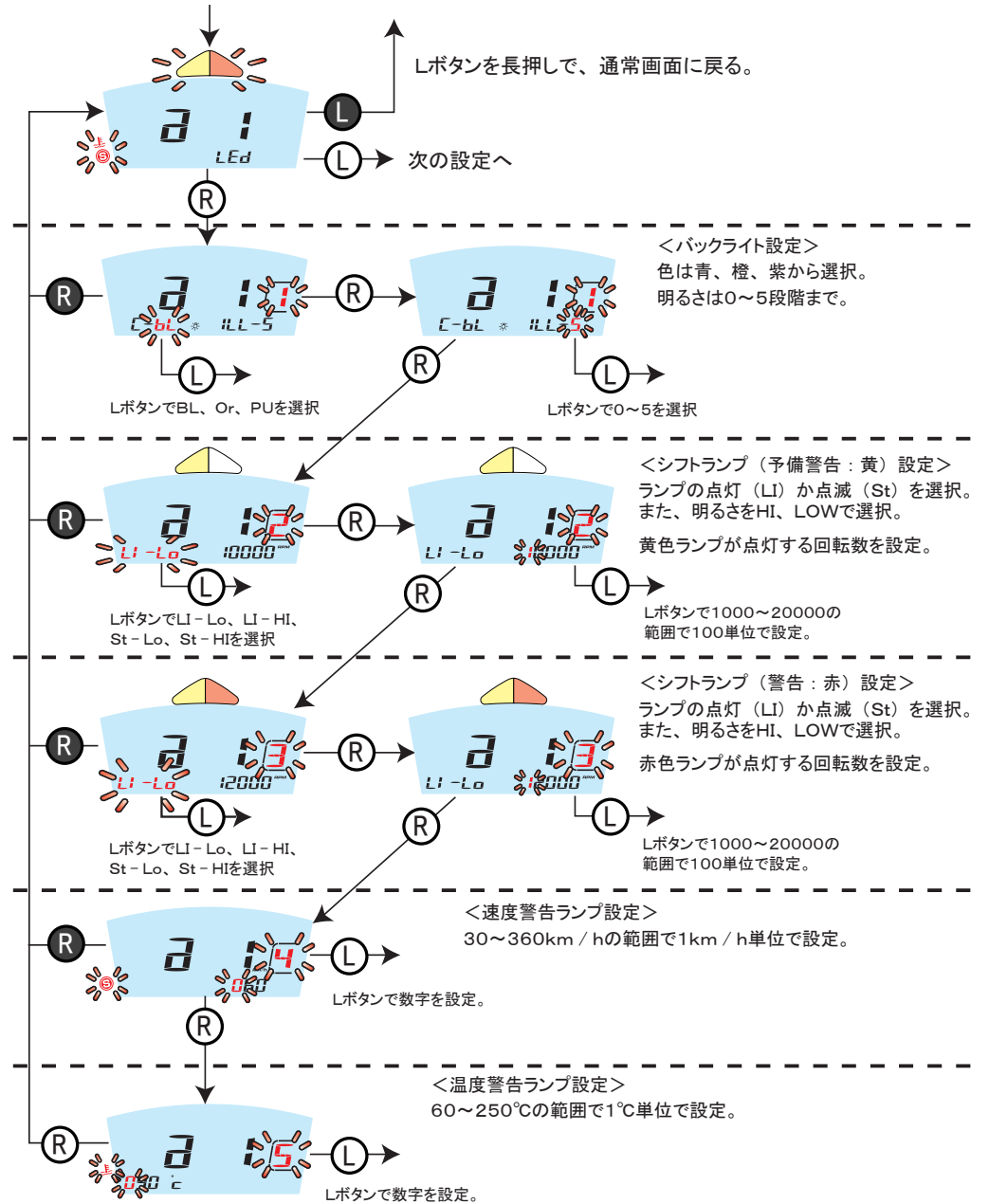
※信号数測定するにはメーターの回転数表示がONになっている必要があります。

2-2. 各種設定について

走行する前にこの設定の項目で車両に合わせてからご使用ください。

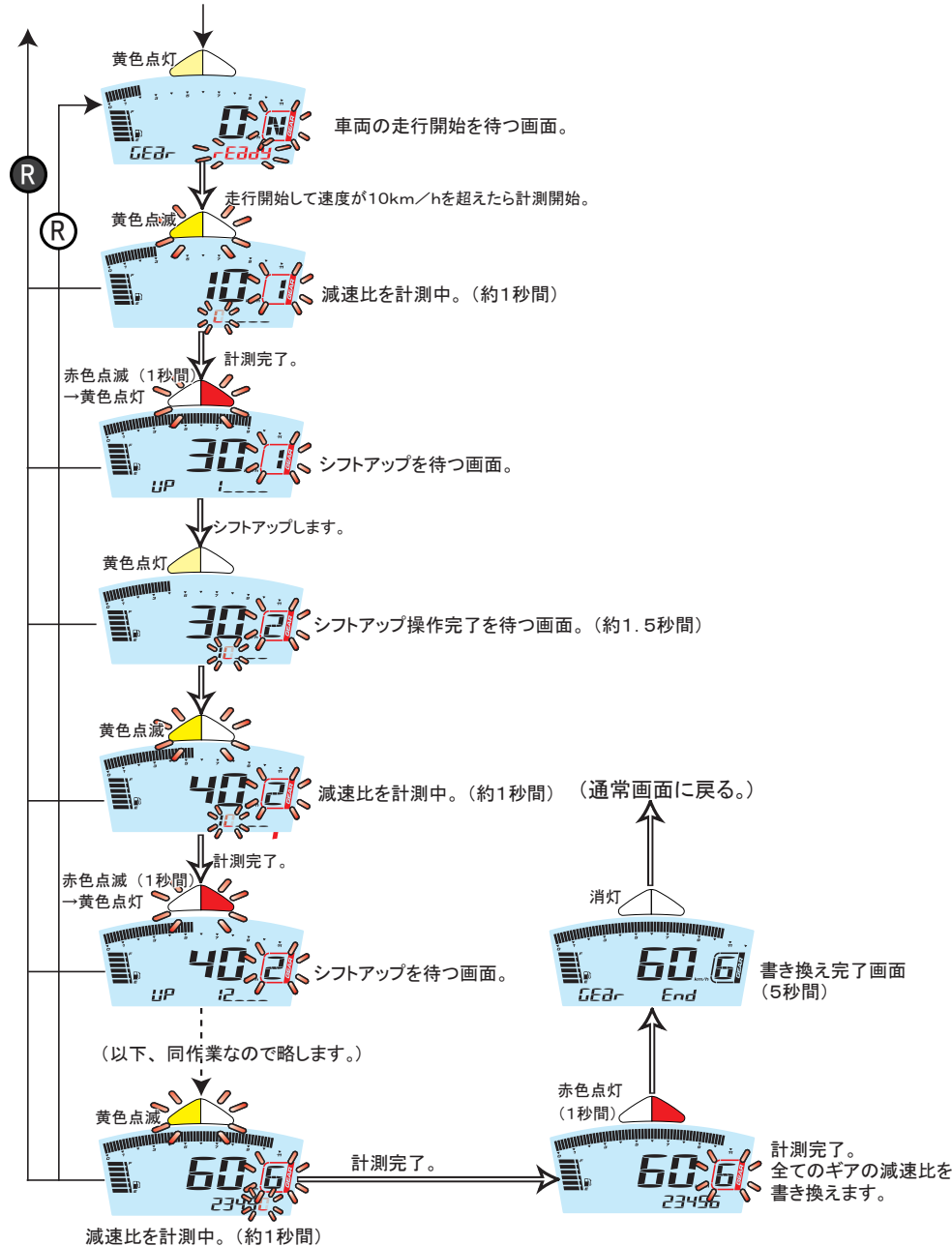


《LED設定》



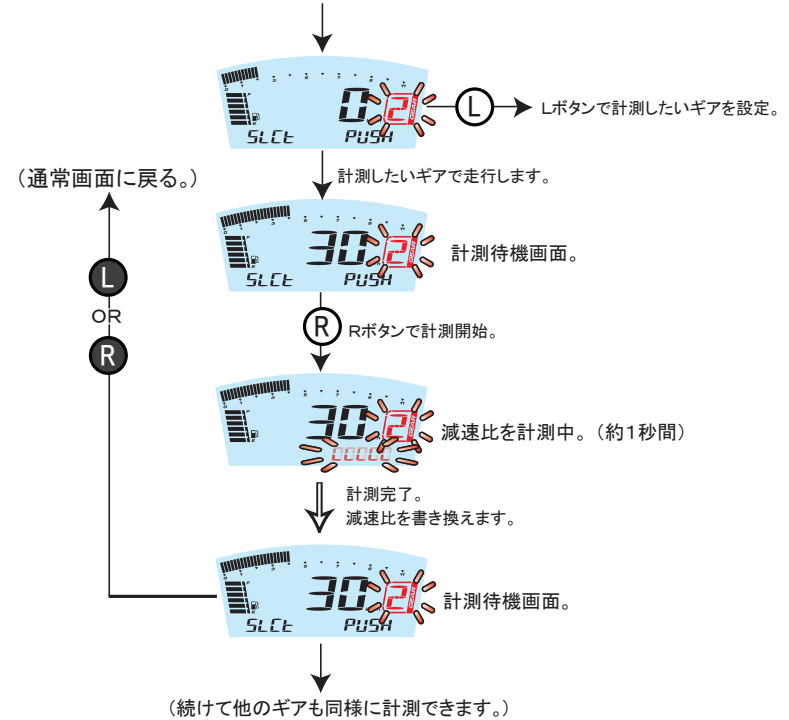
《ギア設定（続き）》

・減速比計測設定で“ALL”を選択した場合。（下例は6速ギア車両の場合）



《ギア設定（続き）》

・減速比計測設定で“PART”を選択した場合。



《注意》

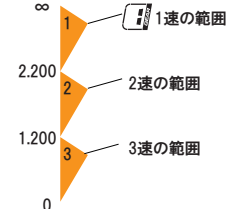
ギア設定をする際には、実走行を行う必要があります。実際の走行中には、周りに十分注意して走行してください。メーターをずっと見たままでの走行は大変危険ですのでおやめください。

＜ギア減速比割合設定について＞

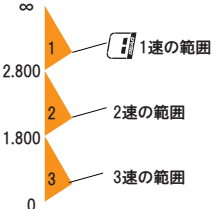
メーターケーブルのよじれ、チェーンの伸び、タイヤの減りとすべり、車体角度などのいろいろな要素により同一ギアで走行中でも減速比は変化しています。そのため、メーターに計測時の減速比と車両の現在の減速比に誤差が発生し、誤ったギアを表示してしまいます。その誤差を修正するために減速比割合設定をすることで間違ったギアを表示することを防ぎます。

計測した減速比	
1	3.000
2	2.000
3	1.000
4	
5	
6	0
7	0
8	0

設定80%の場合で
変速比が下がる（シフトアップ）時



設定80%の場合で
変速比が上がる（シフトダウン）時



計測した減速比と車両の減速比に誤差がありますので、減速比割合設定については最初は初期設定の50%のままで、実際に走行して誤表示が出るようだと設定値を変える必要があります。

《燃料計設定》

Lボタンを長押しして、
通常画面に戻る。

<抵抗値設定について>
USER、100、180、250、270、510、1200、SW、
BATTの中から選択します。
数字はそれぞれガス欠時の抵抗値で、車両のサービス
マニュアルに記載されているので、近い数値があれば、
それを選択します。
もし、近い抵抗値が無ければ、“USER”を選択し、
抵抗値を入力してください。
“SW”はON/OFF式燃料計の場合に選択してください。
また、“BATT”を選択するとバッテリー表示となります。

<BATT表示>



100、180、250、
270、510、1200、
SW、BATTを選択してRボタンの場合

USERを選択してRボタンの場合

<ユーザー設定について>
満タン時とガス欠時の燃料計の抵抗値を
自身で読み込ませます。

<EMPTYの抵抗値設定>
“E”が点滅状態でLボタンを押すと、ガス欠時の
抵抗値を読み込ませることができます。
このとき、ガソリンタンクは空状態にしてください。

Lボタンで抵抗値読み込み。

ガス欠時の抵抗値が分かっている場合には、
“数字”が点滅状態でLボタンを押すことで、
抵抗値を入力することができます。

Lボタンで数値入力。
(範囲：0～1500Ω)

<FULLの抵抗値設定>
“F”が点滅状態でLボタンを押すと、満タン時の
抵抗値を読み込ませることができます。
このとき、ガソリンタンクは満タン状態にしてください。

Lボタンで抵抗値読み込み。

満タン時の抵抗値が分かっている場合には、
“数字”が点滅状態でLボタンを押すことで、
抵抗値を入力することができます。

Lボタンで数値入力。
(範囲：0～1500Ω)

《機能設定》

Lボタンを長押しして、通常画面に戻る。

次の設定へ

<時計表示設定>

ON、OFFから選択します。
※OFFを選択すると時計が表示されません。
バッテリーレス車や常時電源を使用したくない方は、
OFFに設定してください。

LボタンでON、OFFを設定。

<電圧表示設定>

ON、OFFから選択します。
※OFFを選択すると電圧が表示されません。
電圧計はバッテリー電源（直流）専用です。
バッテリーレス車はOFFに設定してください。

LボタンでON、OFFを設定。

<メーター本体オドメーター表示>

特に設定はできません。

<ユーザーオドメーター表示設定>

ご自身のオドメーター設定ができます。
0～99999まで1km単位で入力できます。

Lボタンで数字を設定。

<速度表示設定>

km/h、MPHから選択します。

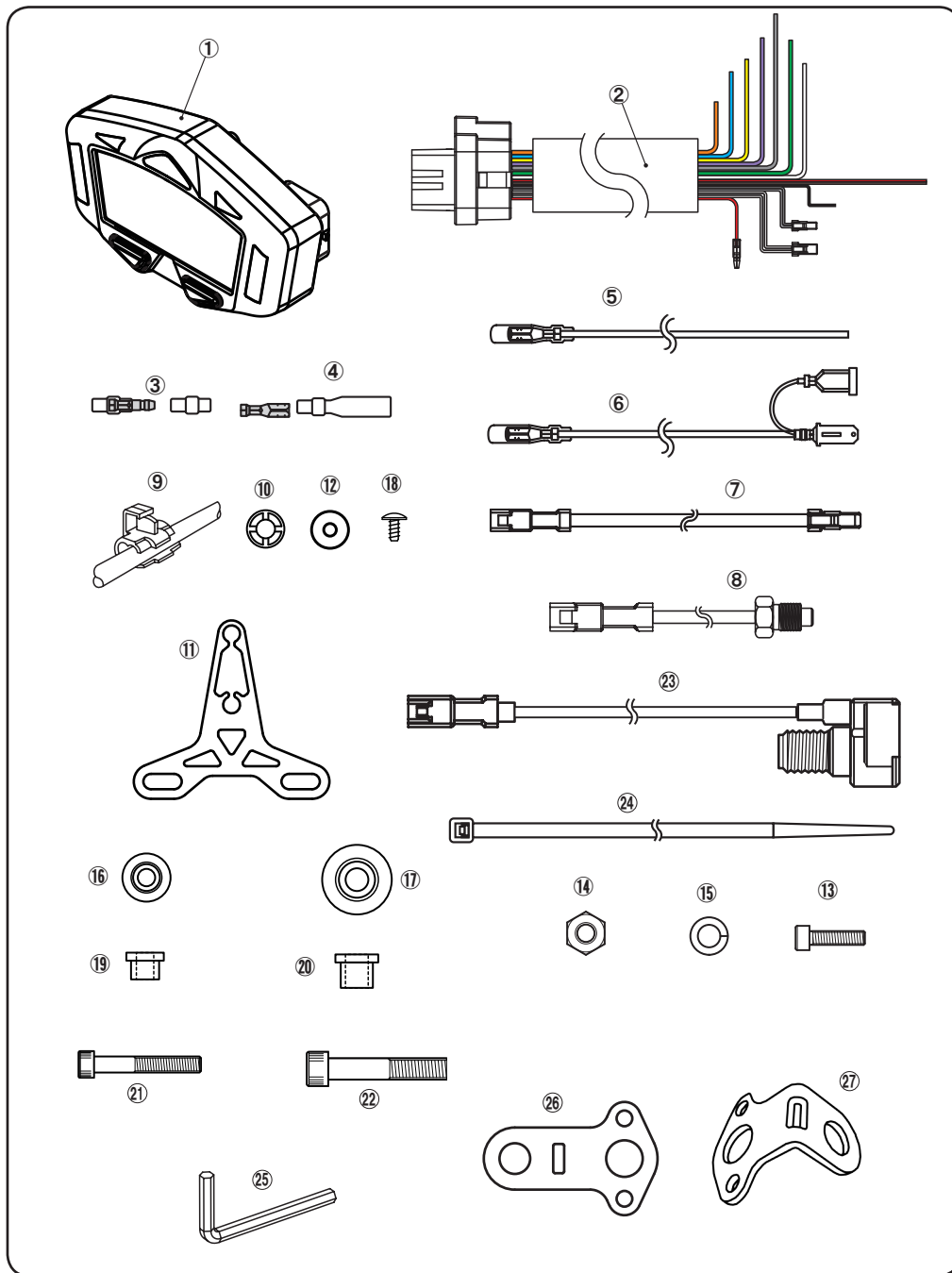
Lボタンで切替。

<温度表示設定>

摂氏、華氏の選択します。

Lボタンで切替。

●構成部品について



番号	部品番号	品名	個数	金額
①	E08T50-MRT-01	マルチメーター本体	1	¥15000 <small>税抜</small>
②	08W50-MRT-E01	メインハーネス	1	¥5000 <small>税抜</small>
③	08T50-EWA-E0A	φ3.5オスギボシセット	4	各 ¥100 <small>税抜</small>
④	08T50-EWA-E0B	φ3.5メスギボシセット	10	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑤	08Z50-MRT-E01	RPMコードA	1	¥600 <small>税抜</small>
⑥	08Z51-MRT-E01	RPMコードB	1	¥600 <small>税抜</small>
⑦	08Z52-MRT-E01	温度センサーケーブル	1	¥500 <small>税抜</small>
⑧	08Z53-MRT-E01	温度センサー	1	¥2500 <small>税抜</small>
⑨	08T50-EWA-E0E	エレクトロタップ	10	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑩	08T50-MRT-E01	クッションラバー	2	各 ¥300 <small>税抜</small>
⑪	08T51-MRT-E01	メーターステー	1	¥1500 <small>税抜</small>
⑫	WASH04014FS-E	ワッシャーφ4	2	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑬	CBOLT04016FS-E	キャップボルトM4×16	2	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑭	NUT40000FS-E	M4ナット	2	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑮	SWASH04007FS-E	スプリングワッシャー φ4×φ7	2	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑯	E16515-MRT-01	スタイリッシュワッシャー M6	2	各 ¥500 <small>税抜</small>
⑰	E16516-MRT-01	スタイリッシュワッシャーM8	2	各 ¥500 <small>税抜</small>
⑱	SCREW04010FS-E	スクリューM4×8	2	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑲	E16517-MRT-01	段付スペーサーM6	2	各 ¥300 <small>税抜</small>
⑳	E16518-MRT-01	段付スペーサーM8	2	各 ¥300 <small>税抜</small>
㉑	CBOLT06040FS-E	キャップボルトM6×40	2	各 ¥150 <small>税抜</small>
㉒	CBOLT08045FS-E	キャップボルトM8×45	2	各 ¥150 <small>税抜</small>
㉓	08Z54-MRT-E01	JISケーブル式速度センサー	1	¥2700 <small>税抜</small>
㉔	08T52-MRT-E01	インシュロック 300mm	2	各 ¥150 <small>税抜</small>
㉕	08T53-MRT-E01	4mmレンチ	1	¥300 <small>税抜</small>
㉖	08T54-MRT-E01	速度センサーステー (フラット)	1	¥800 <small>税抜</small>
㉗	08T55-MRT-E01	速度センサーステー (曲げ)	1	¥800 <small>税抜</small>
㉘	JDHAN37000A01	NEO-SPEC マルチメーター	1	¥17000 <small>税抜</small>

注意

- 構成内容や外観に不備がないかご確認してから製品の取り付けをお願いします。
- 各部品は必ず一旦仮締めとし、車体の組み付け状態を確認し、位置決めをしてから本締めしてください。
- 取り付け・調整が終了したら、各部分のボルト・ナットの締め忘れが無いようご注意ください。
- 取り外した純正部品（ボルト等）は元に戻す際に必要になりますので、必ず保管してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市大字山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
www.endurance-parts.com/